

「いわての学び希望基金教科書購入費等給付事業」事務取扱Q&A(その2)

No.	分類	質 問 内 容	回 答 (案)
1	制服代	平成23年度入学生(平成24年度:2年生)のうち給付対象者は、平成23年度の入学時に購入した制服の領収書を所持していれば、給付対象となるか。	今年度は、平成24年度中に高等学校に在籍するために購入した制服代が対象となりますので、左記の事例は給付対象外です。
2	制服代	本校は登校時の服装が自由だが、「標準服」として統一した学生服を斡旋している。その購入は任意だが、例年9割以上の新入生が購入し、当該服を着用して登校している現状にある。 この場合、標準服購入費は「制服代」として給付対象となるか。	大半の入学生が購入し登校している現状に鑑み、「制服代」とみなし給付対象とします。
3	制服代	通信制課程に在籍しているが、平日はほぼ毎日登校する生徒は、全日制課程と同じ制服の購入・登校時着用を義務付けている。 この場合の制服購入費は給付対象となるか。	ほぼ毎日登校する生徒であること(又はその学級に属していること)並びに当該者に対し制服の購入・登校時着用を義務付けていることを証する書面を添付すれば、給付対象とします。
4	修学旅行費	本校では特定のコースに在籍する生徒について、 <u>2学年次に修学旅行を実施しない代わりに、1学年次に「海外短期留学」を実施している。</u> 当該経費の半額については、「運営費(新時代を拓く特色ある学校づくり事業)補助金」の対象経費として申請しているが、それ以外の経費(いわゆる「保護者負担額」)は当該給付事業の給付対象となるか。	あくまでも「修学旅行」が対象となりますので、「海外短期留学」は給付対象外です。
5	修学旅行費	通信制課程では、毎年下記のとおり「修学旅行」を実施しているが、給付対象となるか。 ・位置付け:修学旅行 ・参加者:通信制課程在籍者のうち希望者(「〇学年全員参加」といったものではない。) ・参加回数:希望すれば何回でも参加可能	1回に限り給付対象とします。ただし、23年度以前に既に修学旅行に参加している者は除きます。